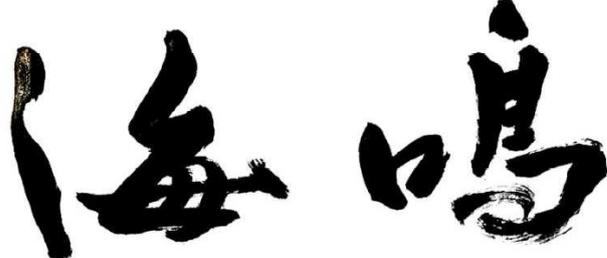


<p>南浜中たより</p> 		<p>【教育目標】 深く考え 心豊かに 実践する生徒</p> <p>令和6年6月12日(水) No.3 新潟市立南浜中学校 校長 高見 潤</p>
---	--	---

## 「なぜ、あいさつをするのか」

全校朝会で生徒に「なぜ、あいさつをするのか」と問い掛けました。「おはよう」「ありがとう」「失礼します」「すみません」どれも私たちの生活の中で頻繁に使う言葉で、校内でたくさん聞かれる言葉です。なぜ、あいさつをするのでしょうか。

調べてみると、あいさつには、「自分の存在を伝える」「相手への好意・敬意」「あなたの存在を認めているよ」という思いの伝播が第一義としてあるようです。そう考えると、あいさつは、自分から相手に対する友好の印であり、互いの存在を認め合えるようにするためのメッセージということになります。あいさつをすると話し相手ができ、人間関係がスムーズになるから相手とコミュニケーションを取ることができるようになっていく、ということのようです。

毎朝、生徒玄関に立ってあいさつ運動を行う規律委員にも同じように尋ねてみました。

「人と人之間にある壁みたいなものを取り除いてくれるのが、あいさつだと思います」

「地域の人に分かってもらえるようになるからじゃないかな」

さすが、規律委員。あいさつの意味をよく分かっています。南浜中学校は、職員も生徒自身も『あいさつを通じて人との繋がりを大切にできる、自ら実践する生徒』を育んでいきます。



生徒玄関に掛かるスローガン

これまでの南中生もあいさつを大切にしてきました。

## 食育ミーティング 「南浜地区全体の教育力を上げる ～生活習慣の改善を目指して～」

5月31日（金）に料理研究家の松丸まき様を講師に迎え、上記の食育ミーティングを行いました。地域・保護者の方、大学生など、30名以上のボランティアの方々からご協力いただきました。お忙しいところ、ご参加いただきありがとうございます。

第1部のパネルディスカッションでは、各学年の代表生徒が自分の生活リズムについて振り返り、「家でも勉強しなきゃいけない」という思いがあることや、「以前はできていたが、中だるみかもしれない」と感じていることを話してくれました。これを受け、第2部では、学年や立場を超えた16のグループに分かれてお互いの思いを聞き合いました。宿題や家庭学習のこと、習い事のこと、ゲームをしたいという思い、就寝時間、地域の方はご自身の経験など、各班で様々な話題が取り上げられていました。どの子にも、友達の話に共感したり地域の方の話にうなずいたりする姿が見られました。

講師の松丸さんから食生活に関して、「成長期の大事な時期、一食抜くことは大きなリスクです。たくさん食べていると思っても実は足りていなくて、体は材料（栄養、タンパク質）を欲しています。自分の内臓や筋肉を作るのは今が大切です。」と教えていただきました。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。



### ◆地域の方や学生の「生徒や自分自身の学び」に関する感想

生徒はおとなしい印象だったが、タンパク質を摂る量について考えている様子があり、自分事として考えているんだなと感心した。



たくさんの年代の人と意見交換することができて、楽しい時間を過ごせた。

自分の現状をしっかりと把握し、家族のことを考えながら前向きに取り組もうとする姿に感心した。

自分自身、とても楽しい話し合いができた。このような活動で、生徒のコミュニケーション力が上がるのではないかと、思う。



生徒が、実現が難しそうな改善策でなく、自分の生活に合わせて無理のない計画を考えていて、とてもよかった。

中には「もっと積極的でもいいのでは？」というご意見も…。全体としては、生徒も含め参加者にとって大きな学びの機会となりました。今後も大勢の保護者の皆さんの参画をお待ちしています。

### ◆参加者のアンケート結果から

<b>問1</b>	友達や地域の方の話をよく聞いたり尋ねたりして、進んで周囲の人とかかわっている			
選択肢	(姿が)見られた	まあまあ見られた	あまり見られなかった	見られなかった
回答数	<b>21</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

<b>問2</b>	これまでの自分の生活の仕方を振り返ったり有効な方法を考えたりしている			
選択肢	(姿が)見られた	まあまあ見られた	あまり見られなかった	見られなかった
回答数	<b>23</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

